

総合評価

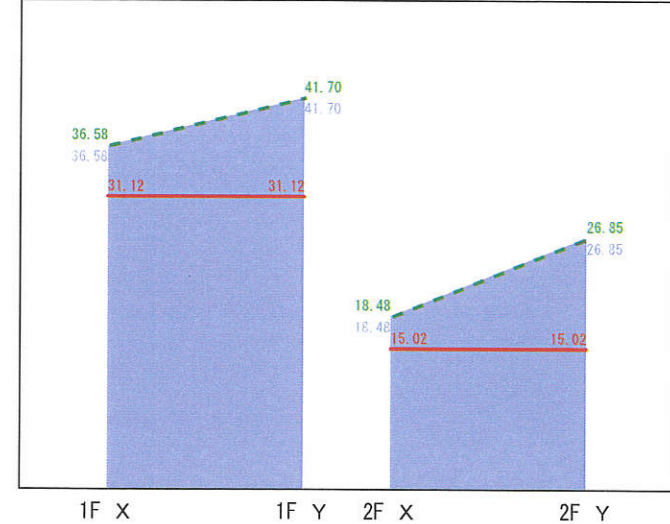
あなたの家の強さ(保有・必要耐力)

◆建物概要

建物名称	様邸		
建築地	東京都中央区	建物階数	2
備考		診断の方法	方法1
構法	在来軸組構法	低減係数E	偏心率
1階構造種別	木造	診断者	
外壁材種	トタン	竣工年月	1958年1月(昭和33年)
外壁材耐力	0.0(kN/m)	築年数	築10年以上
基礎仕様	無筋コンクリート	建物重量	軽い
柱頭柱脚接合部	Ⅲ,Ⅳほぞ差し、釘打ち、かすがい等	混構造割増係数	1.0
必要耐力計算法	精算法(各階の床面積比を考慮した方法)	積雪	0.0
床仕様	Ⅲ 火打ちなし	地域係数Z	1.0
床面積	2階	40.58㎡ (12.27坪)	形状割増 短辺の長さ
	1階	47.15㎡ (14.26坪)	

単位: kN

P 必要耐力 ——— 強さ - - - - 保有耐力



■上部構造の評価

階	方向	強さ P (kN)	配置 E	劣化度 D	保有耐力 Pd=PxExD (kN)	必要耐力 Qr (kN)	評点 Pd/Qr	判定	0.7 1.0 1.5		
									0.7	1.0	1.5
2F	X	18.48	1.00	1.00	18.48	15.02	1.23	一応倒壊しない		○	
	Y	26.85	1.00	1.00	26.85	15.02	1.78	倒壊しない			◎
1F	X	36.58	1.00	1.00	36.58	31.12	1.17	一応倒壊しない		○	
	Y	41.70	1.00	1.00	41.70	31.12	1.33	一応倒壊しない		○	

総合評価

上部構造評点のうち最低の値	評点	判定
1.17	1.5以上	◎ 倒壊しない
	1.0以上~1.5未満	○ 一応倒壊しない
	0.7以上~1.0未満	△ 倒壊する可能性がある
	0.7未満	× 倒壊する可能性が高い

注意事項: 地盤・基礎

地盤・地形・基礎	対策	注意事項
地盤: 普通		
地形: 平坦		
基礎: 無筋コンクリート	ひび割れが生じている	

様邸

診断書作成日時:

Ver. 3.1.4

物件コード: 100726

補強案2 0.19→1.17

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

(財)日本建築防災協会 木耐博士S P評価4-W